

魅力あふれる特異な  
歴史・自然・文化・産業

# 南大東

夢と豊かさの地を求めて、八丈島の人々を開拓者の先頭に、沖縄各地から移住した人々が、わが島の歴史と発展を築いてきました。その開拓スピリッツを受け継ぎ、豊かな自然、温かな人情と共に、希望に輝く未来づくりに、村民がひとつになって取り組んでいます。

そんな開拓スピリッツを、「南大東村をこよなく愛し、この島に住むことを誇りとし、未来に向かって発展する道しるべ」として定めた南大東村憲章とともに、基本理念の柱としても受け継いでいます。

## 基本理念

- ・進取 ～開拓者精神が活きるむらづくり～
- ・調和 ～自然とともに歩むむらづくり～
- ・琢磨 ～人と文化を育むむらづくり～

## 発刊にあたって

南大東村長 新垣 利治

南大東島は明治33年(西暦1900年)至難にして崇高なる開拓着手から今年で開拓123年、村制施行77年を迎えました。

島は、苦難を繰り返しながらも着実に発展を続け、今日の南大東村を築きあげてきました。

開拓以来40年余、会社が経営する島で日本国中でも類例のない社会資本制度が続けられていましたが、昭和21年(1946年)6月12日歴史的な村政が施行され南大東村が誕生しました。

村は戦後「糖業の復興」「自から血と汗で拓いた農地の所有権奪還」「さとうきびの大型機械化一環作業体系の確立」社会資本の整備、教育・福祉の向上等を遂げてまいりました。

しかし、遠隔離島である特異な位置が故に課題もあり解消には時間

を要する現状もありますが、英知を結集して解決していかなければなりません。今後も村が進む未来発展への道しるべとする村民憲章の下、産業振興の基本柱として、「農業」基幹産業であるサトウキビのさらなる増産に向け「さとうきびは島を守り・島は国土を守る」を掲げ、国の甘味資源の供給基地を基軸とし、輪作・間作作物の育成、豊富な漁場を活かした「漁業振興」、特異な歴史・文化・自然等のソフトパワーを生かした「観光振興」等を図り、健康づくり、福祉の向上、教育の振興、子育て支援等を拡充し、離島苦の解消に努め、村のすばらしい歴史と文化を受け継ぎ、島を愛し・島に住むことを誇りとし、村民が安心・安全に、住んで良かった、住み続ける村づくりに創意と工夫を凝らし邁進してまいります。皆様方の一層のご協力ご指導をお願いします。

本書は、南大東村の歴史・文化・自然や暮らしをはじめ、村のさらなる発展への取り組み等を紹介したものです。この要覧を通してご理解いただければ幸いです。

## 進取

～開拓者精神が活きるむらづくり～



## 調和

～自然とともに歩むむらづくり～



## 琢磨

～人と文化を育むむらづくり～



## CONTENTS

【目次】

- 04 【特集】「開拓スピリッツ」  
08 【特集】「南大東村の魅力」  
自然 10 伝統 12  
産業 14 教育 20  
笑顔 22

24 南大東村観光スポット

28 神社・仏閣・史跡

30 6区の活動

32 施設紹介

交通 32 生活環境 33  
治安/消防/防災 33  
電気/通信/郵便/気象 34  
上水/中水/下水道 34  
公共施設 35

36 第5次南大東村総合計画

38 行政・議会

40 姉妹島「八丈町」との交流

41 資料

64 憲章・村章

### 「村花」ハイビスカス

アオイ科の熱帯性常緑底木。情熱的な真っ赤な花は、南大東島の青い空と海によく映えます。主に生垣や庭木として植えられます。



### 「村木」ダイトウビロウ

高さが20mにも及ぶ大東諸島固有の変種。無人島時代は島全体に自生していたといわれ、開拓当時から戦前までは住宅や畜舎などの建築建材や屋根葺きの材料に重宝されました。

